

クマノミズキの開花@筑波実験植物園 (TBG)

このPENだよりでは、Phenological Eyes Network (PEN) が取得したデータの中からいくつかのデータをピックアップして不定期にご紹介します。今回は、国立科学博物館 筑波実験植物園内の自然史標本棟屋上に設置した自動定点カメラが捉えたクマノミズキ(*Cornus macrophylla*)の開花の様子をお伝えします。(大田・笹川・奈佐原)

今回使った画像の全景

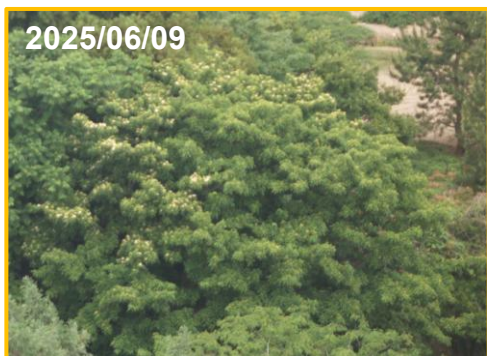


使用した画像のカメラID : ctpc1



クマノミズキはミズキ科の落葉広葉樹で、6月ごろに花を咲かせます。小さな花が集まって花序を形成し、いい香りを放ちます。秋になると黒紫色の実をつけ、実をつける枝が赤くなる様子が目を引きます。似ている木にミズキがありますが、ミズキが互生（葉が交互につく）なのに対してクマノミズキは対生（葉が二枚対称的につく）ので、街角で迷ったときは注目してみてください。参考：筑波実験植物園 植物図鑑「クマノミズキ」、山と溪谷社「樹に咲く花 離弁花②」

2025/06/09



2025/06/12



2025/06/15



2026/06/09



2026/06/12



2026/06/15



2025年と比べると、2026年は花が少なかったように感じます。↑

これらの画像はPENのwebサイト (<https://pen.envr.tsukuba.ac.jp/~TBG/summary/dc/>) からご覧になれます。

PENだよりについてのご意見・ご感想などは、s2312778@u.tsukuba.ac.jpまでお寄せください。